

TOPIC

国連科学委員会が本学で学生向け説明会を開催

令和4年7月20日(水)本学において、原子放射線の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR(アンスケア))が学生向け説明会を開催し、医学部4年生を中心に学生約80名が参加しました。

UNSCEARが2021(令和3)年3月に公表した「2020年/2021年報告書(2011年東日本大震災後の福島第一原子力発電所における事故による放射線被ばくのレベルと影響:UNSCEAR2013年報告書刊行後に発表された知見の影響)」について、ギリアン・ハース前議長、ボリスラバ・バタンジエーヴァ・メットカーフ事務局長、ミハイル・バロノフ博士の一行は、7月19日から22日まで来日し、日本政府や地元住民、関係者などと意見交換を行いました。この説明会は、その一環として、開催されたものです。

学生、教職員からの質問

UNSCEARによる発表の終了後、会場において質疑応答が行われました。教職員と学生から合わせて5つの質問が出ました。特筆すべき点として挙げられるのは「福島第一原発事故に伴う放射線被ばくによる遺伝的影響」に関する項目に関し、UNSCEAR2020年報告書においてほとんど記載がなかった点に触れ、それ



説明会全体風景

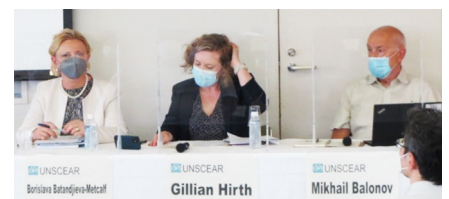
について追加のコメントを求めたものでした。

この質問の背景には、環境省などが2020年度・2021年度に実施した意識調査で、「現在の放射線被ばくで、次世代への健康影響が福島県民に起こる可能性が高い」と認識している人の割合が、国民全体のおよそ4割に上ることがあります。

放射線の遺伝的影響を誰も証明したことがない

バロノフ博士は、質問に対し「放射線被ばくに伴う遺伝的影響については、よく研究され知見が得られている分野である。私はネズミで遺伝影響の実験を行ったことがあり、ネズミ

においては遺伝影響がよく出た」と述べた上で、「だが、未だかつて、ヒトにおける放射線の遺伝影響を誰も証明したことはない」と発言。続けて、「だから、2020年の報告書を編集する過程において、放射線被ばくに伴う遺伝影響に関しては、ほとんど注意が向けられなかった」と言及しました。



左からメットカーフ事務局長、ハース前議長バロノフ博士

令和4年7月19日プレス発表

医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター TRセンターが取得したIgA抗体がオミクロン株BA.4、BA.5に強く結合

新型コロナウイルス感染症回復者血液から取得したIgA抗体が、オミクロン株BA.4、BA.5に非常に強く結合することを確認しました。

当該IgA抗体は、既に昨年12月から販売さ

れているIgA抗体マスク(株式会社ゼファー/株式会社IgA・JAPAN)及びIgA抗体配合スプレー(株式会社いちい)に使用されています。

詳細はこちらから



NEWS

オープンキャンパス 2022開催

令和4年7月2日(土)に看護学部、保健科学部の、7月16日(土)には、医学部のオープンキャンパスが、光が丘キャンパスと福島駅前キャンパスで開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、事前申し込み・抽選により参加人数を制限せざるを得ない状況で、ぎりぎりまで対応を検討する中での開催となりました。

光が丘キャンパスでは、医学部・看護学部の3年ぶりの開催により、真夏の太陽に負けない参加者の眩しい笑顔が中庭いっぱいに広がり



MRIでの磁力の強さの体験風景(福島駅前キャンパス)

ました。また、街なかの賑わいがこだまする福島駅前キャンパスは、参加者の会話が弾み楽しげな雰囲気に包まれました。

次年度こそは、参加を希望した方全員に来学いただくことができる状況になることを願っております。



01 光が丘キャンパス(医学部・看護学部)



医学部では、藤森敬也医学部長の開催のあいさつを皮切りに、入試概要やカリキュラムの説明、在学生によるキャンパスライフ紹介が行われました。

菅沼亮太生殖医療センター長の「生殖医療の過去・現在・未来」と、風間順一郎腎臓高血圧内科学講座教授の「医学を学んでどうい

うこと?」と題した模擬講義を参加者は熱心に聞き入っていました。

また、在学生との“フリートーク”セッションでは、参加者が先輩たちに受験対策や学生生活など率直な疑問をぶつけていました。

看護学部では、坂本祐子看護学部長が開催のあいさつを行ったのち、入試概要の説明や在学生による大学生活紹介が行われました。

石井佳世子母性看護・助産学部門講師による産後うつをテーマとした「育児中のお母さんの産後うつ」と題した模擬講義では参加者一同が神妙な面持ちで講義に聞き入る様子が印象的でした。

また、教員や在学生が授業のことや学生生活などに答える「質問相談コーナー」は、絶えず順番待ちの列が途切れないほどの盛況ぶりでした。

来春、キャンパスでお会いしましょう!と参加者を見送り、3年ぶりのオープンキャンパスを無事に終えました。



02 福島駅前キャンパス(保健科学部)



保健科学部では、矢吹省司保健科学部長のあいさつ、各学科長による概要説明、在学生による学生生活の発表の後、模擬講義やデモンストレーションの見学、実習体験等を通して、保健科学部への理解を深めるコースが設けられ、参加者は説明を熱心に聞いていました。

また、質問相談コーナーでは、希望者が教職員や在学生に対してカリキュラムや入試対策、学生生活について積極的に質問し、キャンパスライフのイメージを膨らませました。

福島駅前キャンパスの
当日の詳しい様子は
こちらからご覧ください

